アートマイル環太平洋環境ユースサミットに参加して

大谷　真奈美（海星学院高等学校２年）

今回の訪問を通し感じたことは英語だけがコミュニケーションツールではないということです。確かに英語は必要でたくさん使ったけれど歌や絵や書道が私の英語力を助けてくれることを知ることができました。

特に笑顔は最高のコミュニケーションツールで訪問中に何度も私を助けてくれました。いつも交流の第一歩は日本の文化についてで、日本文化の素晴らしさを改めて感じました。

エコについては先進国と呼ばれる日本よりもインドネシアのほうが関心が高く、学校でもエコの先生がいてエコの授業があると聞きました。この面では日本もインドネシアを見習いもっとエコについてみんなが関心を持つべきだと思いました。

プレゼンテーションは会場の子と仲良くなったからか緊張はせず、一生懸命練習した結果を自分なりに発表することができてよかったです。みんなのあたたかい聞く姿勢にも感動しました。釜石の方と約束、釜石の現状をたくさんの人に伝えることを果たすことができました。

今回の縁で出会ったみんなとこれからも交流を続けてまたいつかインドネシアに行きたいと思います。

今回たくさんお世話になった塩飽さん夫妻をはじめとするジャパンアートマイルのみなさん、最高のチームワークをつくったユースの 8 人、サミットの参加を決めるきっかけになった市川先生、9 日間一緒に楽しんだ山根先生、応援してくださった先生方、今回の訪問で出会ったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

このような素晴らしい体験し、たくさん成長させていただきました。本当にありがとうございました。